



2026年4月20日

各位

会社名 ディーブイェックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柴崎 浩  
(コード番号：3079 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役執行役員 諏訪 聡志  
電話 03-6899-3975

## 2026年3月期（累計）業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表した2026年3月期（累計）の業績予想を、下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 2026年3月期（累計）連結業績予想値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	51,956	581	581	395	37.66
今回修正（B）	55,989	279	299	189	18.10
増減額（B－A）	4,032	△302	△282	△205	
増減率（％）	7.8	△51.9	△48.5	△51.9	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期通期）	50,321	537	542	410	39.20

### 2. 修正の理由

2026年3月期（累計）の連結業績予想につきましては、営業活動の強化により売上高が順調に推移し、前回発表予想を上回る増収が見込まれる一方、利益面については当初の想定を下回る見通しとなりました。

主因としては、心房細動治療における新技术「パルスフィールドアブレーション（PFA）」関連製品が想定を上回る勢いで普及したことが挙げられます。これにより、当社の主力である不整脈分野において急速な需要シフトが発生し、製品ミックスの変化に伴う売上原価率の上昇が当初の想定を超えて進行いたしました。加えて、昨今の物価高騰による諸経費の増加や、将来の成長を見据えた人材採用費を含む外部委託費および人件費の負担が計画を上回ったことも利益を圧迫する要因となりました。

なお、次期以降につきましては、より収益性の高い自社企画商品やサービスの販売強化に注力するとともに、継続的な業務効率化を推進することで、粗利率の改善と収益力の回復を図ってまいります。

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上